

問 いじめ・体罰における基本的な考え方は
答 いじめをする子の自尊意識の低さが問題、
体罰は絶対許されないことである 板橋 英治 議員



問 いじめの対応策は
教育長 いじめをする子

徳授業の充実や人権教育の推進、教職員による校内巡視等、多岐にわた

うな方策を講じているのか。

に子ども達の指導、保護者への指導等、委ねてお

教育次長 そういつた事
案が発生しない事が望

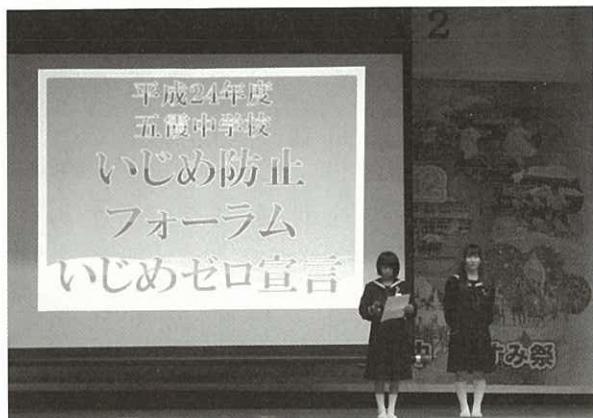
の傾向は、自尊意識の低い子が非常に多いのです。自分を大事にできない自尊意識のない子は、

内巡回等、多岐にわたるいじめ防止方策を展開し、いじめ解消の徹底に努めているところです。

教育次長 生徒自身により、いじめ撲滅運動を開いています。

問 次に体罰についてですが、仮に体罰が表面化、問題化した場合の教

案が発生しない事が望ましいが、発生した場合は、始末書を提出させるとともに、校長、教職員への厳重な指導並びに



平成24年11月10日に開催された いじめ防止フォーラム

他人も大事にできないと
いうような心理が働き、
そして弱い者をいじめる
という傾向があることから、
自尊意識をどう育てるか
ということが学校の大きな課題であると思
います。

問 いじめられている、いじめられた生徒に対して精神的なケアはされているのか。
教育次長 教職員はもちろん、県からスクールカウンセラーが派遣されており、各学校で定期的に指導・援助を進めております。

問 現在学校では、いじめへの指導ではなく絶対にしてはいけない行為などと自発的に考えるよ

教育次長 児童相談所等
が。
にも、いじめる側にも援助が必要だと思われます

育委員会の対応について、
教育長 早急にその実態
を調査して、それなりの
処罰を課すことになります。

員への厳重な指導並びに再発防止徹底化の指導ということで考えておりま
す。

健康福祉課長 五霞町の不妊治療について。成24年度は7名となつており増えつつあるところですございます。県内市町村の助成状況は平成25年度は29市町村で助成事業を実施しております。

問 子どもをつくろうと頑張っている人に助成をするのも一つの少子化対策ではないか。

町長 県の支援を受けながら、どう支援していくか、しっかりと検討して

問 町として不妊者の気持ちに向き合って、行政として支援する事が、姿勢として何より大事だと思いますが。

町長 今後、できるだけサポートして、来年度事業の中でもしつかり検討していくたい。

問 町として助成する事で、潜在的な不妊者に当を照らし、私も不妊で悩んでいますと、手をあげていたら、それこそが本当に少子化対策、この

町長 それぞれの家庭・夫婦によつて様々な問題があるうかと思いますので、この7名の方は全てではなく、隠れた方々もいるのではないかと思いますので、いろいろ情報提供して、しつかりそちらの取り組みを今後も進めていきたい。

